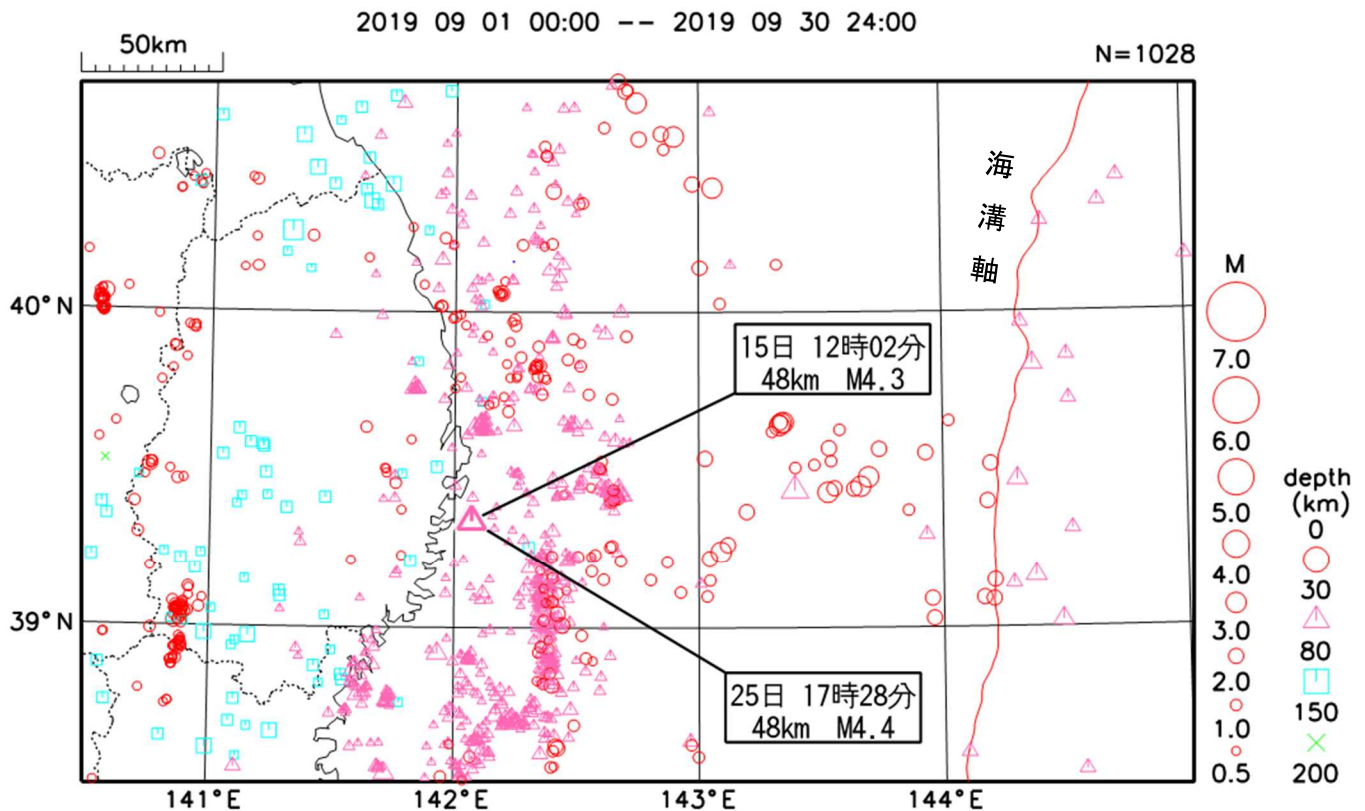


岩手県月間地震概況

2019 (令和元) 年9月

盛岡地方気象台

震央分布図



※吹き出しをつけた地震は概況でふれたものである。

【概況】

今期間、図の範囲内で観測した地震は1028回(先月1052回)、岩手県内で震度1以上を観測した地震は15回(先月16回)であった。

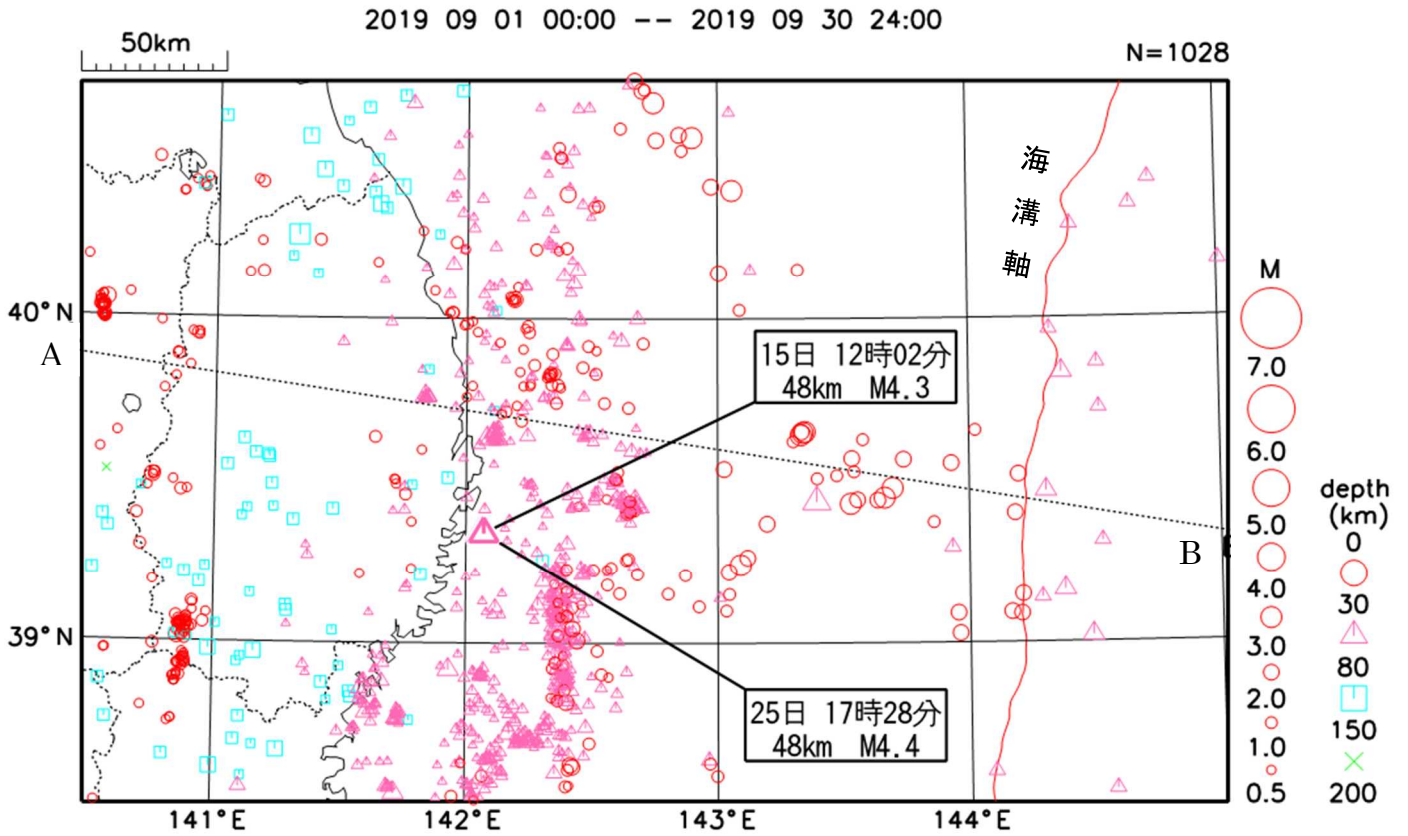
15日12時02分に岩手県沖の深さ48kmでM4.3の地震が発生し、青森県、岩手県、宮城県で震度3～1を観測した。県内では、釜石市と大船渡市で震度3を観測したほか、広い範囲で震度2～1を観測した。

25日17時28分に岩手県沖の深さ48kmでM4.4の地震が発生し、青森県、秋田県、岩手県、宮城県で震度3～1を観測した。県内では、釜石市、大船渡市、山田町で震度3を観測したほか、広い範囲で震度2～1を観測した。

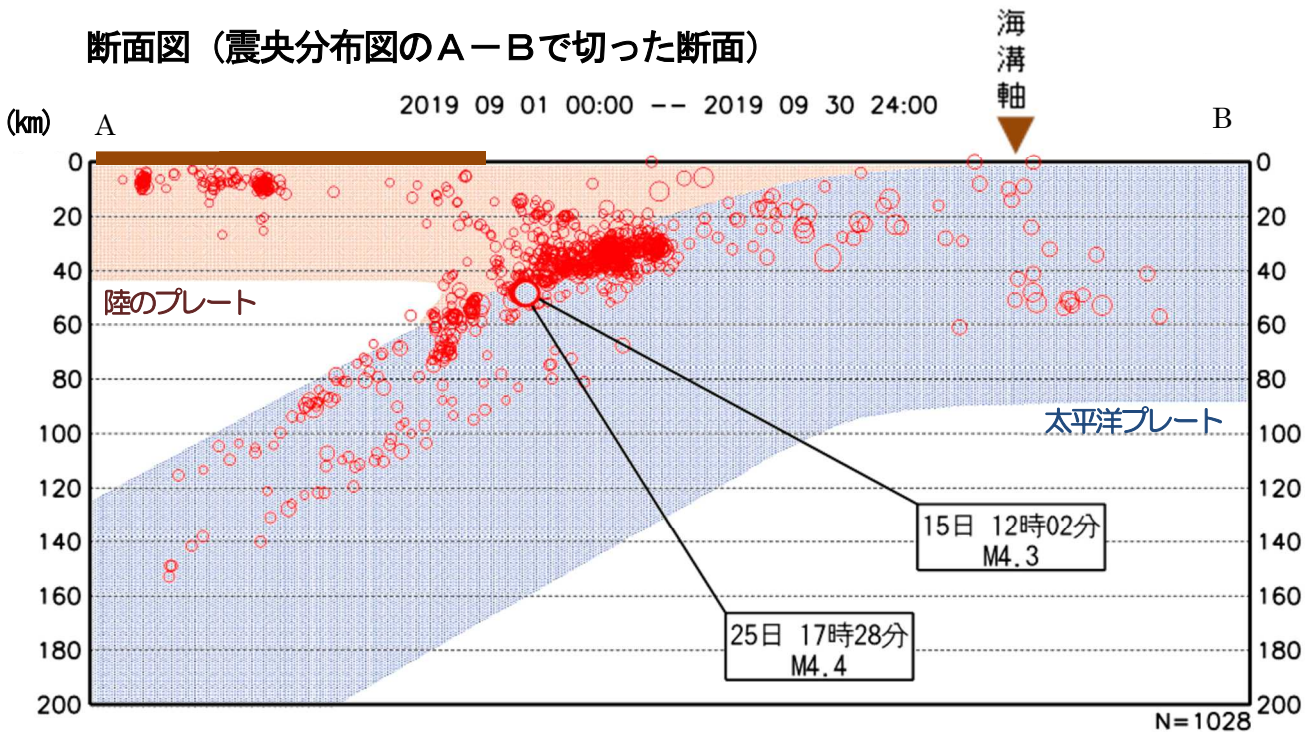
これらの地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

【注】各地の震度の詳細については、「岩手県で震度1以上を観測した地震」の表を参照。なお、使用した震源要素等は再調査により変更することがある。

震央分布図



断面図 (震央分布図のA-Bで切った断面)



※陸地から遠く離れた海域 (概ね陸地から 200 km 以遠) ほど震源の深さ精度は良くない。断面図で見られる
 沖合の地震の震源は、実際にはより浅いところ (深さ 10~30km) のものが多いと考えられる。

※ は陸地の大きな位置を示している。

※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大きなものである。

岩手県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2019年9月1日～2019年9月30日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2019年09月04日03時42分	三陸沖	39° 26.2' N	143° 23.6' E	35km	M4.6
岩手県	震度 1 : 盛岡市藪川*				
2019年09月04日19時54分	岩手県沖	39° 38.0' N	142° 04.9' E	48km	M3.9
岩手県	震度 2 : 宮古市五月町* 宮古市田老* 山田町大沢*				
	震度 1 : 宮古市鉾ヶ崎 宮古市長沢 宮古市川井* 宮古市茂市* 山田町八幡町 釜石市只越町 釜石市中妻町* 住田町世田米* 花巻市大迫町 花巻市大迫総合支所* 遠野市青笹町* 遠野市宮守町* 一関市大東町				
2019年09月07日17時01分	岩手県沖	39° 38.1' N	142° 06.5' E	48km	M4.0
岩手県	震度 2 : 宮古市鉾ヶ崎 宮古市五月町* 宮古市川井* 宮古市田老* 山田町大沢*				
	震度 1 : 宮古市長沢 宮古市区界* 宮古市茂市* 久慈市枝成沢 山田町八幡町 岩泉町大川* 岩泉町岩泉* 田野畑村田野畑 田野畑村役場* 普代村銅屋* 野田村野田* 岩手洋野町大野* 釜石市只越町 釜石市中妻町* 住田町世田米* 盛岡市山王町 盛岡市馬場町* 盛岡市藪川* 盛岡市渋民* 葛巻町葛巻元木 八幡平市田頭* 軽米町軽米* 九戸村伊保内* 矢巾町南矢幅* 花巻市大迫町 花巻市大迫総合支所* 北上市相去町* 遠野市青笹町* 遠野市宮守町* 一関市大東町 一関市千厩町* 一関市室根町*				
2019年09月07日18時35分	青森県東方沖	41° 34.3' N	142° 04.2' E	64km	M5.0
岩手県	震度 2 : 久慈市枝成沢				
	震度 1 : 宮古市田老* 久慈市川崎町 岩手洋野町種市 岩手洋野町大野* 住田町世田米* 盛岡市藪川* 二戸市石切所* 二戸市浄法寺町* 八幡平市田頭* 軽米町軽米* 九戸村伊保内*				
2019年09月10日04時43分	岩手県沖	39° 20.4' N	142° 04.4' E	48km	M3.3
岩手県	震度 1 : 大船渡市大船渡町 釜石市中妻町* 住田町世田米*				
2019年09月12日01時44分	福島県沖	37° 47.7' N	141° 39.9' E	52km	M4.5
岩手県	震度 1 : 一関市千厩町* 一関市室根町*				
2019年09月13日02時09分	岩手県沖	39° 20.4' N	142° 04.5' E	48km	M3.6
岩手県	震度 1 : 山田町大沢* 大船渡市大船渡町 大船渡市猪川町 陸前高田市高田町* 釜石市只越町 釜石市中妻町* 住田町世田米* 一関市室根町*				
2019年09月15日12時02分	岩手県沖	39° 20.3' N	142° 04.2' E	48km	M4.3
岩手県	震度 3 : 大船渡市大船渡町 釜石市中妻町*				
	震度 2 : 山田町八幡町 山田町大沢* 大船渡市盛町* 陸前高田市高田町* 釜石市只越町 住田町世田米* 大槌町小鎚* 一関市室根町*				
	震度 1 : 宮古市鉾ヶ崎 宮古市長沢 宮古市五月町* 宮古市川井* 宮古市区界* 宮古市田老* 宮古市茂市* 大船渡市猪川町 盛岡市山王町 盛岡市藪川* 盛岡市渋民* 葛巻町葛巻元木 八幡平市田頭* 花巻市大迫町 北上市相去町* 遠野市青笹町* 遠野市宮守町* 一関市大東町 一関市花泉町* 一関市千厩町* 一関市東山町* 一関市藤沢町* 平泉町平泉* 奥州市胆沢*				
2019年09月16日01時27分	青森県東方沖	41° 12.0' N	142° 02.8' E	58km	M4.5
岩手県	震度 2 : 軽米町軽米*				
	震度 1 : 久慈市枝成沢 岩手洋野町種市 岩手洋野町大野* 盛岡市藪川* 二戸市浄法寺町* 八幡平市田頭* 九戸村伊保内*				

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2019年09月16日21時43分	岩手県沖	39° 25.7' N	142° 40.2' E	32km	M4.5
岩手県	震度1	: 宮古市田老* 山田町大沢* 普代村銅屋* 釜石市只越町 釜石市中妻町* 住田町世田米* 盛岡市藪川* 盛岡市洪民* 八幡平市田頭* 遠野市青笹町* 一関市千厩町* 一関市室根町*			
2019年09月17日22時12分	宮城県沖	38° 43.3' N	142° 10.4' E	41km	M3.6
岩手県	震度1	: 釜石市中妻町* 住田町世田米* 一関市千厩町* 一関市室根町*			
2019年09月19日20時54分	宮城県沖	38° 32.1' N	141° 43.2' E	53km	M3.7
岩手県	震度1	: 大船渡市大船渡町 一関市千厩町* 一関市室根町* 一関市藤沢町*			
2019年09月25日17時28分	岩手県沖	39° 20.4' N	142° 03.7' E	48km	M4.4
岩手県	震度3	: 山田町八幡町 大船渡市大船渡町 釜石市只越町 釜石市中妻町*			
	震度2	: 宮古市鉄ヶ崎 宮古市五月町* 宮古市田老* 山田町大沢* 大船渡市猪川町 大船渡市盛町* 陸前高田市高田町* 住田町世田米* 大槌町小鏡* 盛岡市藪川* 遠野市青笹町* 一関市大東町 一関市千厩町* 一関市室根町* 一関市藤沢町*			
	震度1	: 宮古市長沢 宮古市川井* 宮古市区界* 宮古市茂市* 久慈市枝成沢 岩泉町大川* 普代村銅屋* 盛岡市山王町 盛岡市馬場町* 盛岡市洪民* 葛巻町葛巻元木 八幡平市田頭* 矢巾町南矢幅* 花巻市大迫町 花巻市石鳥谷町* 花巻市大迫総合支所* 花巻市東和町* 北上市柳原町 北上市相去町* 遠野市宮守町* 一関市花泉町* 一関市東山町* 金ヶ崎町西根* 平泉町平泉* 奥州市水沢大鐘町 奥州市水沢佐倉河* 奥州市江刺* 奥州市前沢* 奥州市胆沢* 奥州市衣川*			
2019年09月27日20時11分	宮城県沖	38° 55.0' N	141° 55.9' E	51km	M3.8
岩手県	震度2	: 大船渡市大船渡町 大船渡市猪川町 一関市室根町*			
	震度1	: 大船渡市盛町* 陸前高田市高田町* 釜石市只越町 釜石市中妻町* 住田町世田米* 花巻市大迫町 北上市相去町* 遠野市青笹町* 遠野市宮守町* 一関市大東町 一関市花泉町* 一関市千厩町* 一関市東山町* 一関市藤沢町*			
2019年09月28日03時46分	宮城県沖	38° 47.2' N	141° 36.7' E	70km	M3.2
岩手県	震度1	: 一関市東山町* 一関市室根町* 一関市藤沢町*			

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は岩手県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

液状化現象について

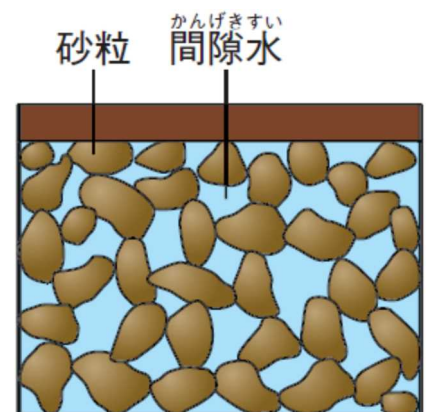
【液状化現象とは】

低地や埋立地等で水分を多く含んだ砂地の地盤では、普段は砂粒同士が支えあい、その間を水が満たしている状態で安定しています。

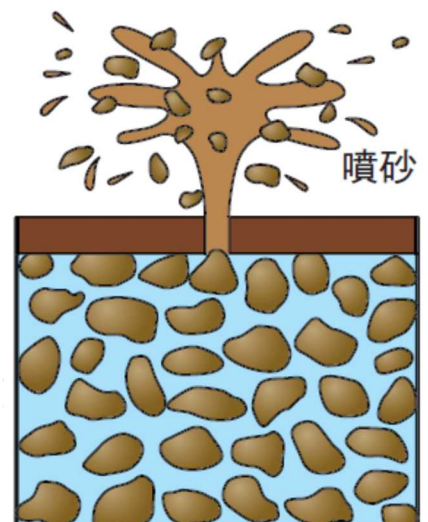
しかし、地震によって激しい振動が加えられると、砂粒の支えあいが崩れて水と砂が一体となって流動化し、砂粒同士が接触する力を弱めて「泥水」のような状態になり、圧力の高くなった地下水は「噴砂」や「噴水」として地表面に噴き出す現象が液状化現象です。

また、液状化現象では、地上にある建物などの重いものは沈降し、地下のタンクやマンホール、水道管などの比重の軽いものは、浮力で浮き上がり地面から飛び出し、その後、水に比べて重い砂粒が沈むことで地盤は沈下することがあります。

地震が起きる前



地震が発生



地震の後

